

当院で肺の重粒子線治療をお受けになった皆様へ

放射線医学総合研究所では、肺癌に対して重粒子線の1回照射による治療を行った患者さんの治療成績を調査することとしました。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] I期非小細胞肺癌に対する重粒子線1回照射法の治療成績に関する後向き観察研究（実施期間：2018年7月9日～2020年3月31日）

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 臨床研究クラスター重粒子線治療研究部

[研究責任者] 山本 直敬

[研究の目的] これまでに肺癌の重粒子線治療の成績はいくつか報告されているが、1回照射の成績は臨床試験として施行した線量増加試験の報告のみであり、現在実施している50グレイを用いた治療成績はまだ少数例での報告しかない状況である。今回後向き観察研究を行い、50グレイで治療したすべての症例（約200名）について治療成績を確認する。さらに、例えば重篤な合併症を伴った症例などエックス線治療や、外科手術と比較して重粒子線治療が有益となりうる対象を明らかにすることを目的とする。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2008年1月1日～2018年5月31日に重粒子線治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

2018年9月1日までに得られたデータを、情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計しますので、新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い] 研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際には患者さんを識別出来るような個人情報は利用しません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2018年10月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この期間を過ぎると個人識別できない情報は取り除けなくなることがあります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 病院

電話：043-206-3306（平日8：30～17：00） 担当 山本直敬

